



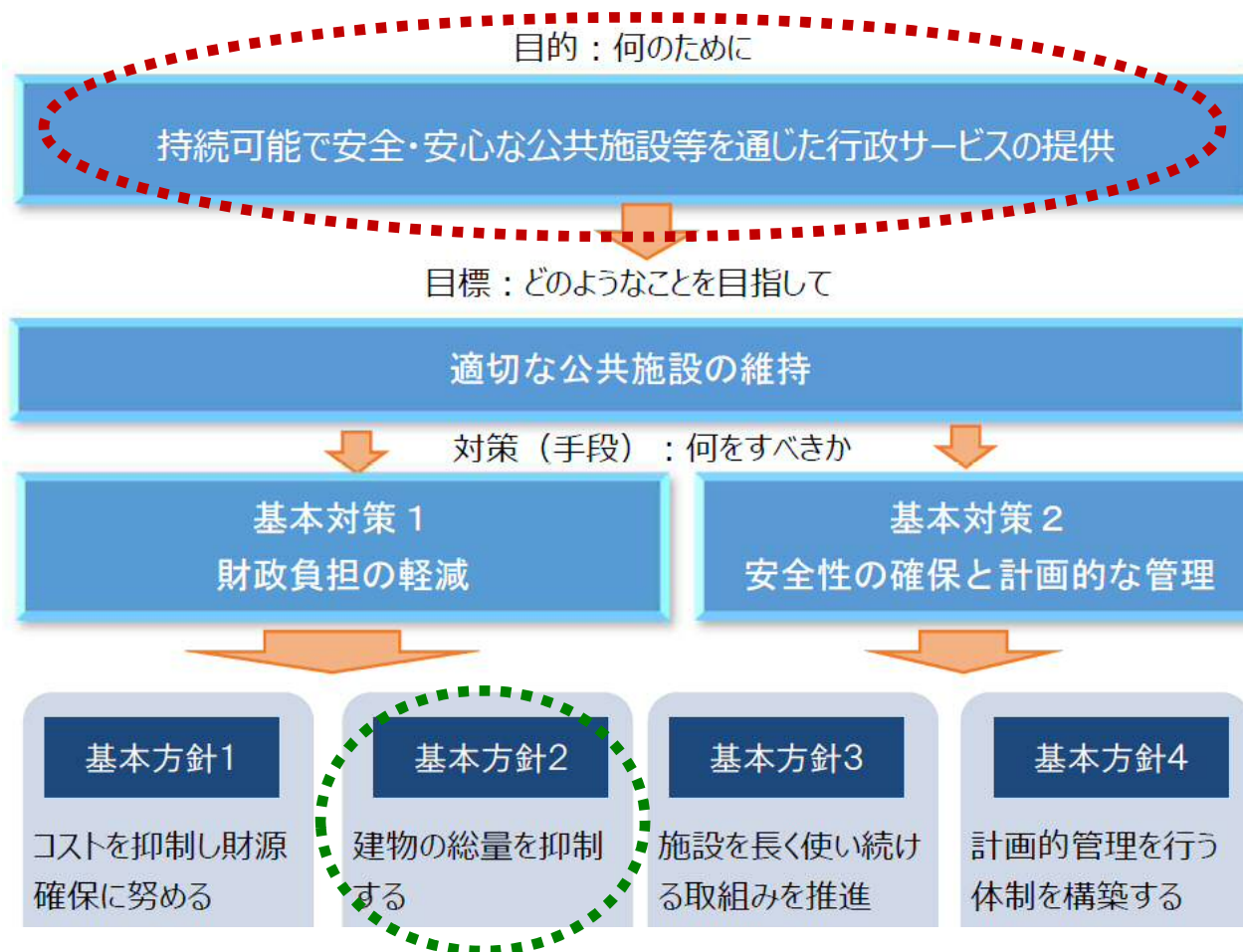
# 公共サービスの持続的な提供に向けた 公共施設再編の事例

【越谷市 懇談会資料】

## ■はじめに ～公共施設等の管理で目指すもの～

- ・目指すのは「**公共サービスの持続的な提供**」

⇔「**建物の総量抑制**」は、あくまでも**財政制約に対応するための手段**



## ■ご紹介する公共施設再編の方策

- ・施設の建替え等に際し、従来と同等の公共サービスを維持しながら、建物の総量抑制（≒整備や維持管理に係るコストの抑制）を実現している、以下のような公共施設再編方策の事例をご紹介します。

施設再編方策	方策の概要
複合化	複数の異なる機能（＝サービス）を一つの建物に集約する
統合	同じサービスを提供する複数の施設を再編して、施設の数減らす
多目的利用	異なる施設で一つのスペース（建物や部屋）を共有し、それぞれのサービスを時間帯や曜日をずらして提供する
転用	新たな建物を整備せず、既存の建物を有効活用してサービスを提供する
民間施設の活用	民間が保有する施設を活用して市民サービスを提供する

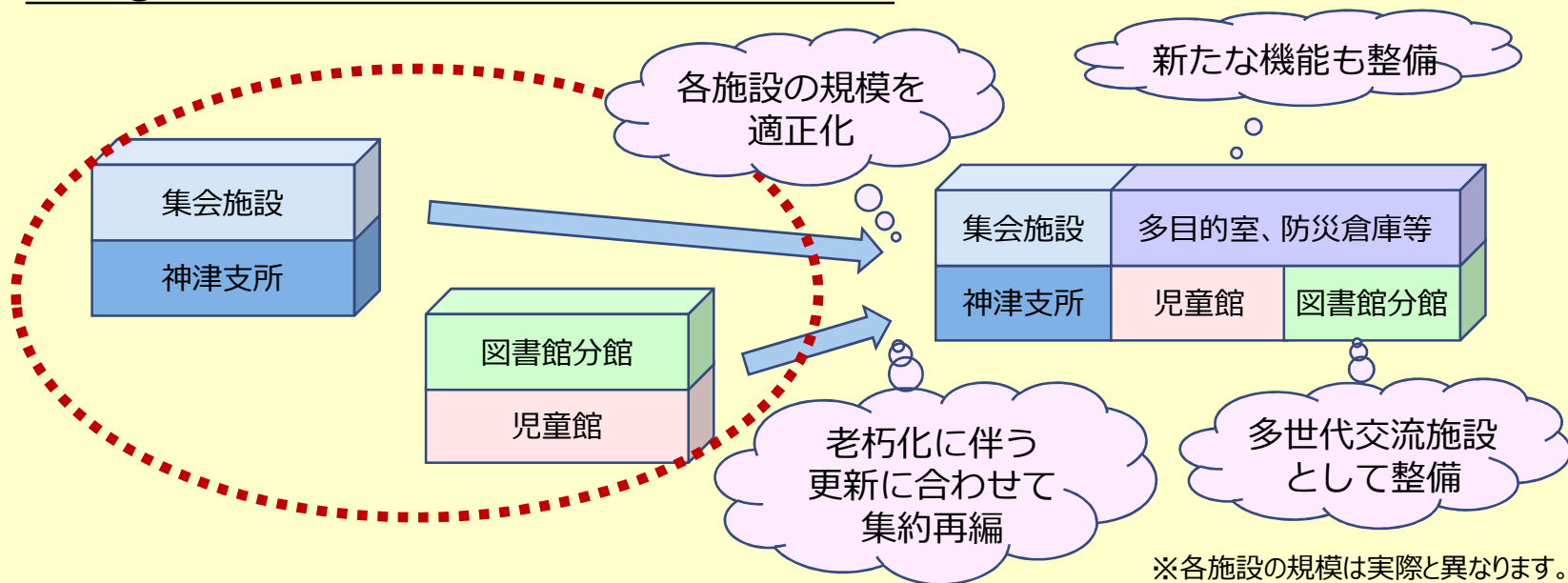
# 方策1:複合化

## 【複合化のメリット】

施設ごとに建物を整備してサービスを提供する場合と比較すると・・・

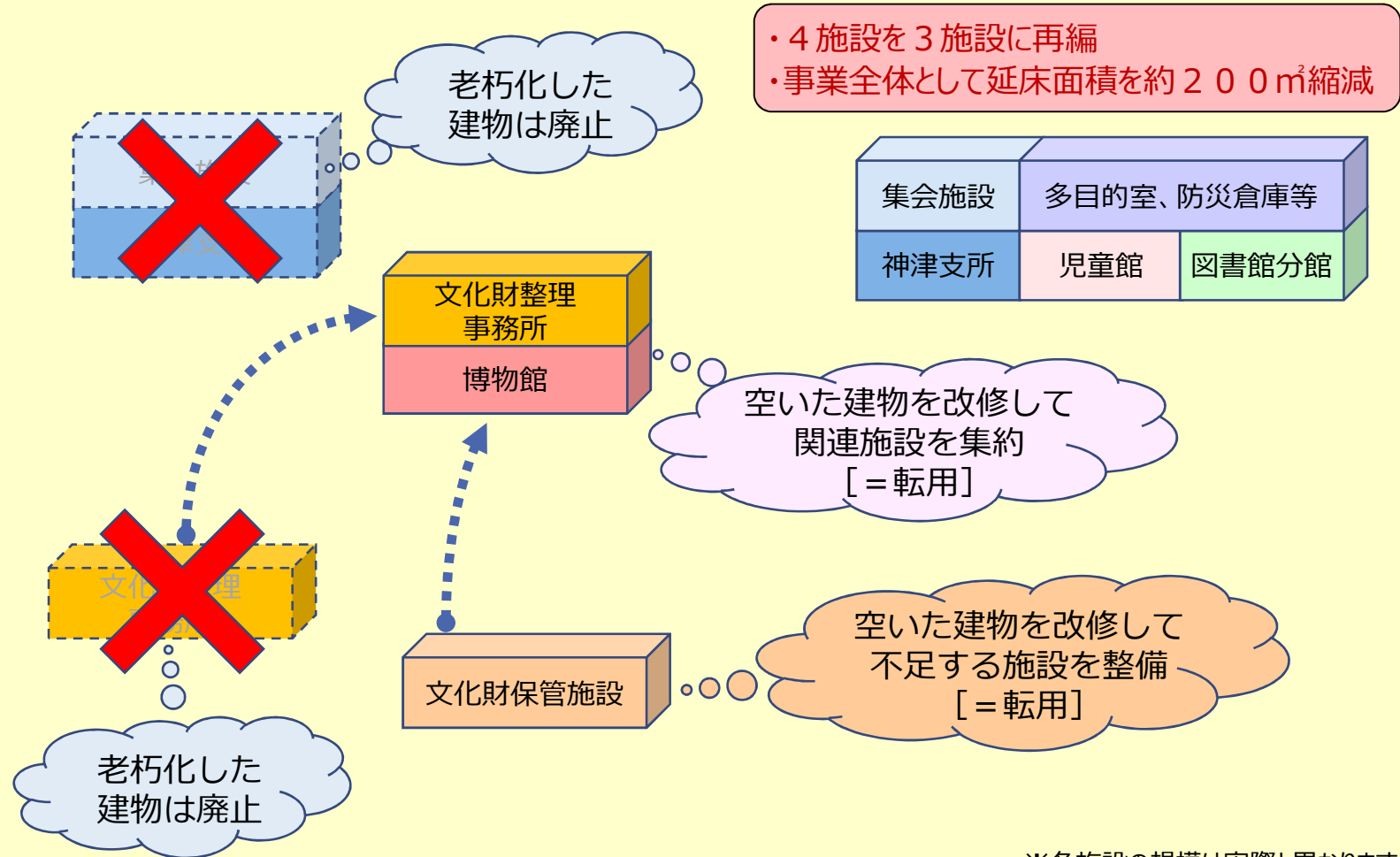
- ① トイレや階段等の“スペース”や、電源や給水等の“機械設備”を共用することで、**建物の整備や大規模改修に係る工事費の縮減**
- ② 清掃や点検、利用者受付など、**日常的な施設管理の効率化**
- ③ **利用者サービスの向上**（利便性向上、利用者相互の交流など）

### 事例①：大阪府伊丹市 神津交流センター



# 方策1:「複合化」の事例

## 事例①：大阪府伊丹市 神津交流センター



## 参考：越谷市における「複合化」施設

---

### 【市の公共施設同士の複合化】

- 教育センター、増林地区センター・公民館
- 中央市民会館、障害者福祉センターこばと館、越ヶ谷地区センター・公民館
- 北部市民会館（市民会館・図書室）、北部出張所
- 南越谷小学校、南越谷地区センター・公民館
- 越谷コミュニティセンター、南部図書室、南部出張所
- 産業雇用支援センター（産業支援課、公共職業安定所、障害者就労支援センター、越谷市シルバー人材センター）
- 保健所、夜間急患診療所

### 【民間施設との複合化】

- 男女共同参画支援センター〔北越谷駅再開発ビル内〕
- 市民活動支援センター（中央図書室）、パスポートセンター〔越谷駅再開発ビル内〕

### 【同一敷地内に設置】

- 障害者就労支援センターしらこばと、児童発達支援センター

## 方策2: 統合

### 【統合のメリット】

現在の施設をそのまま建替える場合と比較すると・・・

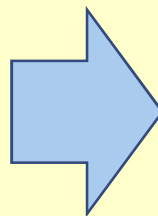
- ①利用状況の変化に合わせた、**施設の規模や配置の適正化**
- ②施設規模の削減による、**建物の整備や大規模改修に係る工事費の縮減**
- ③施設数の削減による、**日常的な施設管理に係るコストの削減**

#### 事例②：焼津市 保育園の統合



老朽化に伴う更新に  
際し3園を統合

全体の延床面積を  
約10% (210㎡) 削減



新たに地域交流室を設置

【写真の出典】焼津市作成資料

## 方策3：多目的利用

### 【多目的利用のメリット】

「複合化」のメリットに加え、以下のメリットがある

- ①スペースの共有により施設規模が削減され、**建物の整備や大規模改修に係る工事費の縮減**
- ②時間帯や曜日で提供するサービスを変えることによる、**共有したスペースの有効活用（稼働率の向上）**

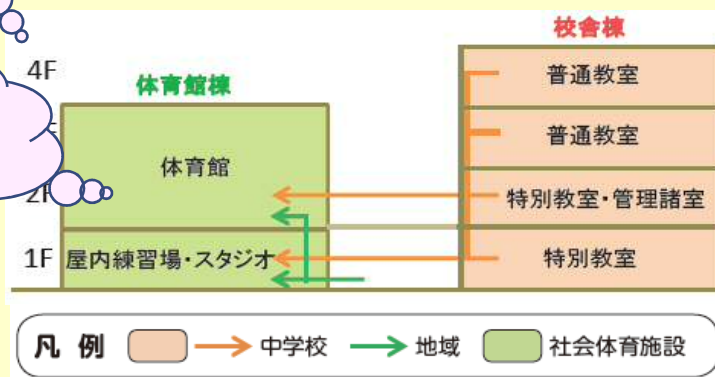
#### 事例③：石川県かほく市 宇ノ気体育館・宇ノ気中学校

中学校の改築時に  
体育館棟を社会体育  
施設として整備

総合型地域スポーツクラブが  
体育館の管理運営を実施

平日昼間は学校利用  
中心／夜間休日は  
地域利用中心

スポーツクラブとの  
連携により学校の  
部活動が充実

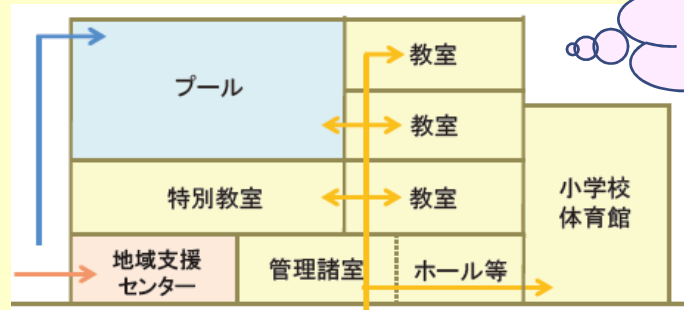


【出典】文部科学省資料『学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について』（平成27年11月、学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議）



## 方策3: 多目的利用

### 事例④：東京都目黒区 碑小学校



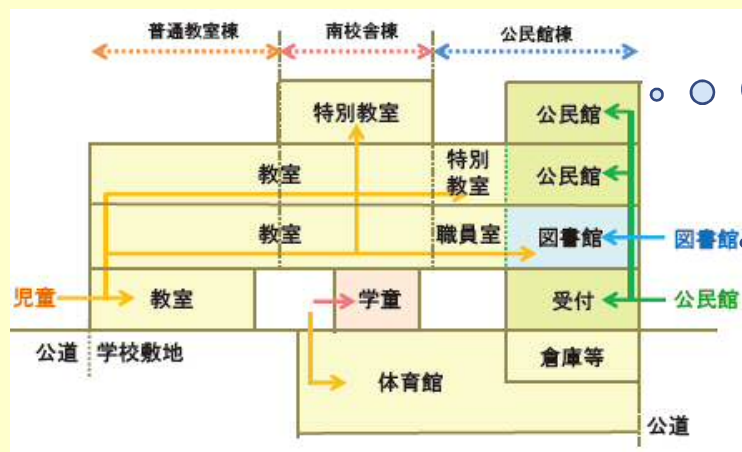
小学校の改築時に  
屋内プールを整備し  
地域に開放

事例④と逆に、小学校の  
プールを廃止し、スポー  
ツ施設等の温水プールで  
水泳の授業を実施してい  
る自治体もある。

[神奈川県海老名市 等]

【出典】文部科学省資料『学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について』  
(平成27年11月、学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

### 事例⑤：埼玉県志木市 志木小学校・図書館・公民館



小学校の改築時に  
周辺の老朽化した  
図書館・公民館を複合化

図書館は小学校の図書室と  
しても利用される

【出典】文部科学省資料『学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について』(平成27年11月、学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

## 方策4: 転用

### 【転用のメリット】

建替や新設に際し、新しい建物を整備する場合と比較すると、建物の総量を増やさず、**投資を抑えながらサービスを継続又は拡充**できる。

#### 事例⑥：茨城県ひたちなか市 青少年センター

現在の青少年センター



【写真の出典】ひたちなか市ホームページ

現在の建物は老朽化しているため  
既存の建物を改装・移転することで  
サービスを継続する予定

民間から取得した建物

## 方策5: 民間施設の活用

---

### 【民間施設活用のメリット】

行政が施設を整備することなく、市民サービスの向上を図ることができる。

- ・ 民間住宅の借り上げや家賃補助による居住支援

- ・ 民間スポーツ施設の地域開放

(例) 川崎市と企業・大学の協定による施設開放 [プール、  
体育館 (2箇所)、野球場、テニスコート、グラウンド]

- ・ 民間施設を中心にサービスを提供し、補助制度等で支援  
(高齢者福祉施設、幼稚園、保育園、学童クラブ)

## ■ 最後に

---

これからは、「あれも・これも」ではなく、「あれか・これか」の時代  
⇒しかし、我慢し、切り詰めて減らすだけでは息苦しくなります

**公共施設の再編は、コスト削減だけが目的ではありません。  
「やりくり」と「取捨選択」による『適正化』が重要です！**

必要な「公共サービスの確保」と「コスト縮減」の両立を図るため、  
現状維持にこだわらず、公共施設のあり方を見直していきましょう。